

東日本大震災の教訓を活かして

商品を注文すれば数日間で商品が届き、現在では販売店も在庫を持たずとも商売ができるようになりましたが、当社では、日常生活に欠かせない日用品などを安定供給できるよう一定数在庫。

その備えは、東日本大震災において活かされ、災害で物流が全面的に停止するなか、当社では、日用品関係に関しましては品切れを一切おこすことなく多くのお客様に安定供給。

近年、首都直下型地震や南海・東南海地震、富士山噴火など様々な災害が危惧されており、万一これらの災害が発生した際には確実にトイレットペーパーなどの製品が不足される事が予想されます。

当社では、このような事態が発生した際も商品を安定供給できるよう定期的に紙製品をご購入頂いているお客様に関しては約三ヶ月分の在庫を目安として自社倉庫で防災備蓄を行っており、大規模災害の発生時におきましても商品の安定供給に努めて参ります。

災害時における商品供給に関して

当社が行っている日用品などの防災備蓄はあくまでも定期的に商品をご購入頂いているお客様に対して確保しているものであり、災害時におきましては定期購入者様への商品供給を何よりも最優先に行います。

また、災害時には物流が長期間停止する事も予想され、例え商品の在庫があったとしても定期購入者様の分は常に確保しておく必要がある為、その全ての在庫を販売にまわす訳にはいきません。

有事におきましては、定期的に商品をご購入頂いているお客様何よりも最優先に供給を行い、その後の商品の入荷状況や在庫状況などを考慮したうえで、余力がある場合のみ一般販売を行わせて頂きます。

当社では、災害を念頭に **BCP(事業継続計画)**の策定および、定期的に **BCM(事業継続マネジメント)**を推進し、大災害発生時におきましても自社の事業継続とお客様への商品の安定供給、サービス提供を目指し、お客様にあたりまえの安心と安全をお届け致します。

事業継続計画

当社では、想定外の災害等に備え、次の項目に関して整備を行う。

① 防災備蓄の強化（防災用品・日用品・衛生用品等）

当社では、大規模災害発生時に物流が停止した時に備え、定期購入者様に対して商品を安定供給できるよう紙製品や衛生用品を中心とした日用品に関しては約三ヶ月分の防災備蓄を行う。

また、緊急時における商品の補給に関して、メーカーの倉庫に直接商品を取りに行ける体制を構築し、自社のトラックおよび相互協力を行う事業者との協力のもと自前で物流機能を構築する。

② 災害に備えた情報通信機器および通信手段の確保

停電に備えて、インバーター発電機や大容量のポータブル電源、モバイル電源の整備を行い、停電時の情報手段の確保する為、インターネット回線およびテレビ映像を受信する機材を整備する。また、停電時は必要最低限の電力で運用する必要がある事からノートパソコンや小型複合機などの省電力機器も併せて整備を行う。

③ 緊急時における異業種の仲間達との連携について

有事の際には、車両、物資、人員、倉庫機能などの相互に融通し合い、当社としては自社の通信設備や物資、倉庫機能などを開放するものとする。

④ 感染症対策として

各種感染予防策として、マスクや除菌アルコール、ニトリル手袋などの衛生用品の整備を行う。パルスオキシメーターや医療用の抗原検査キット、非接触型体温計なども併せて整備を行う。

防災備蓄品



災害に備えた予備電源と貸出機

